



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- 踏みはずしの原因になりますので下記事項をお守りください。
  - ・建築基準法を必ず遵守した上で取付けてください。
  - ・蹴上げを一定の高さにしてください。
  - ・階段を取り付ける個所の階高が、設計寸法通りになっていることを確認してください。階高寸法が設計寸法と違っていた場合、最上段の蹴上げが変わり、踏みはずしの原因になります。
- 階段脱落の原因になりますので下記事項をお守りください。
  - ・桁上部側の壁材の下地材は、必ず構造用合板(t12mm以上)にしてください。石膏ボードが下地材の壁には桁を取付けることは出来ません。ただし、石膏ボード後貼仕上げの場合や、石膏ボードを切欠いて納める場合は桁を取付けることが出来ます。
  - ・当製品は室内用です。屋外や、水のかかる場所に取り付けることは出来ません。
  - ・桁が取付く壁・床の下地には、指定の納まりに従って補強材を設けた上で取付けしてください。
  - ・ねじ類は確実に本固定を行い、ゆるみのないことを確認してください。
  - ・階段取付け部の床の水平と、壁の垂直が出ていることを確認してください。
  - ・指定箇所には3番ビットドライバをご使用ください。ねじ頭をなめて十分な締め付けが出来ないおそれがあります。
  - ・指定箇所には必ず指定の下穴をあけてください。ねじ止め部に割れが発生するおそれがあります。

### ■取付け上のお願い

#### 1 検品について

●納品時に、各部材を必ず検品してください。万一、製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(取付け完了後の色調・木理具合・キズなどによる交換はできません。)

#### 2 取扱いについて

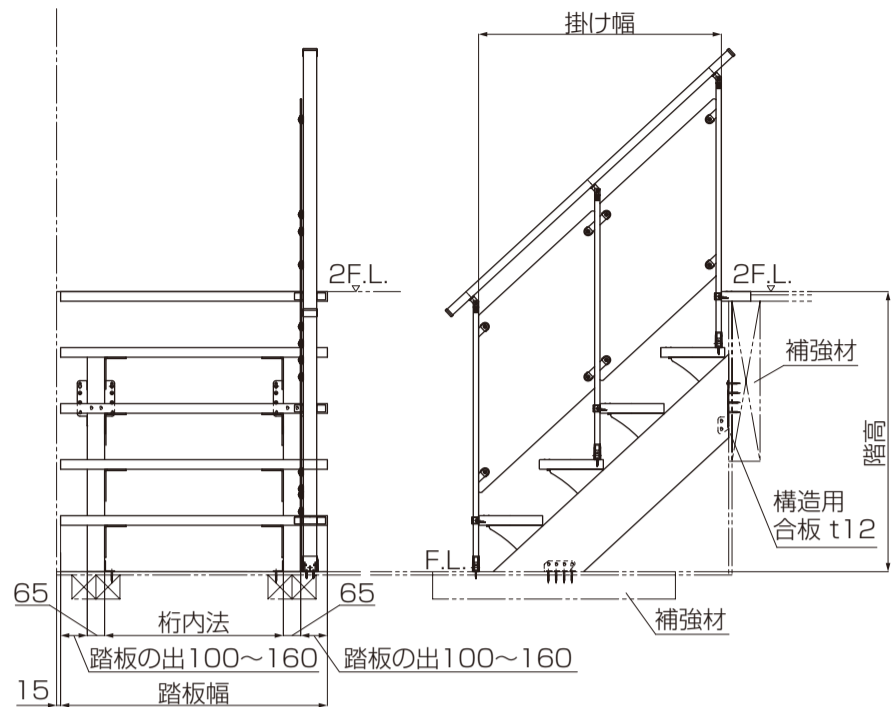
●運搬・加工時には、キズのつかないようにていねいにお取扱いください。また、開梱状態で直接水がかかったり、直射日光の当たる場所に置くことはお避けください。ソリ・ねじれなどの原因となります。

### ■梱包部品一覧

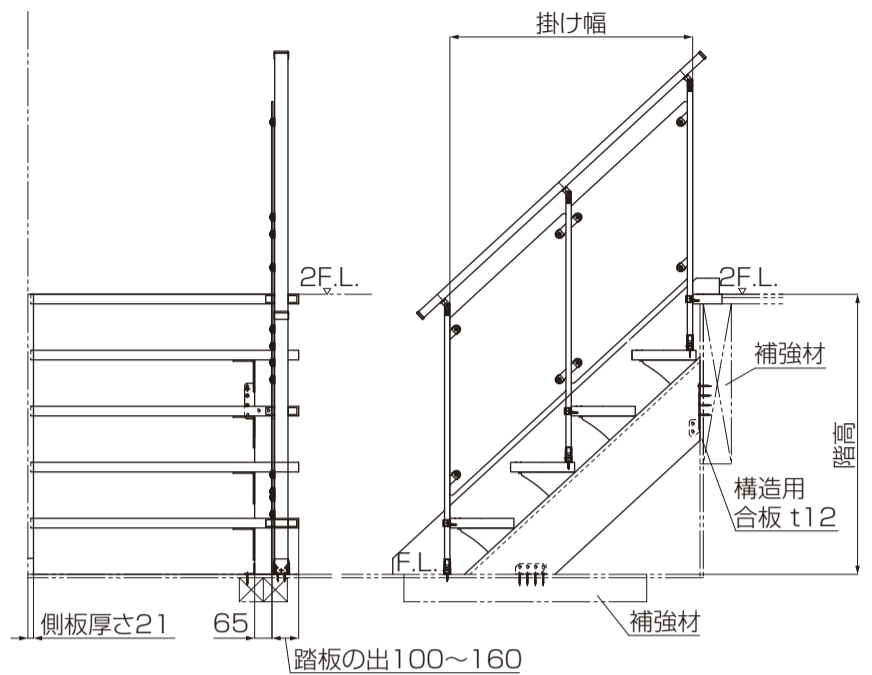
<p>桁 ×1 取付け説明書 ×1</p>	<p><b>踏板固定金具(入数1)</b></p> <p>踏板固定金具 ×1</p> <p>丸木ねじφ5.8×50 ×2 皿木ねじφ5.8×45 ×4 ワッシャー ◎×2</p>	<p><b>上部固定金具</b></p> <p>上部固定金具</p> <p>丸木ねじφ5.8×50 ×2 皿木ねじφ5.8×45 ×14 化粧シール ×1</p>
	<p><b>踏板固定金具(入数3)</b></p> <p>踏板固定金具 ×3</p> <p>丸木ねじφ5.8×50 ×6 皿木ねじφ5.8×45 ×12 ワッシャー ◎×6</p>	<p><b>下部固定金具</b></p> <p>下部固定金具</p> <p>皿木ねじφ5.8×45 ×8</p>
<p><b>グリップ段鼻仕様(入数1)</b></p> <p>グリップ段鼻仕様(6面化粧) ×1</p>	<p><b>グリップ段鼻無し仕様(入数1)</b></p> <p>グリップ段鼻無し仕様(6面化粧) ×1</p>	
<p><b>グリップ段鼻仕様(入数3)</b></p> <p>グリップ段鼻仕様(6面化粧) ×3</p>	<p><b>グリップ段鼻無し仕様(入数3)</b></p> <p>グリップ段鼻無し仕様(6面化粧) ×3</p>	

## ■納まり図

### <両側桁納まり>



### <片側桁納まり>

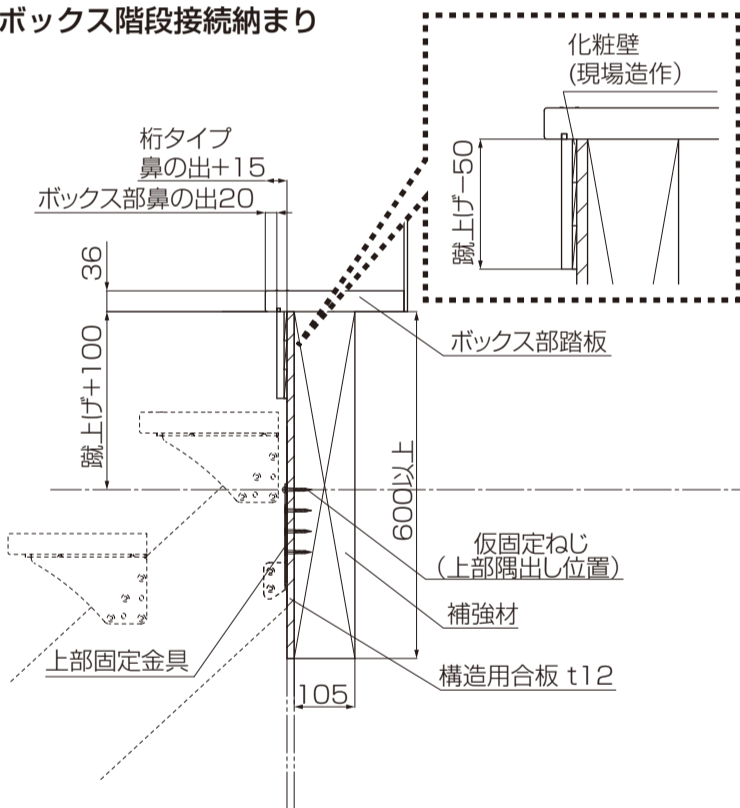


## ■取付け順序

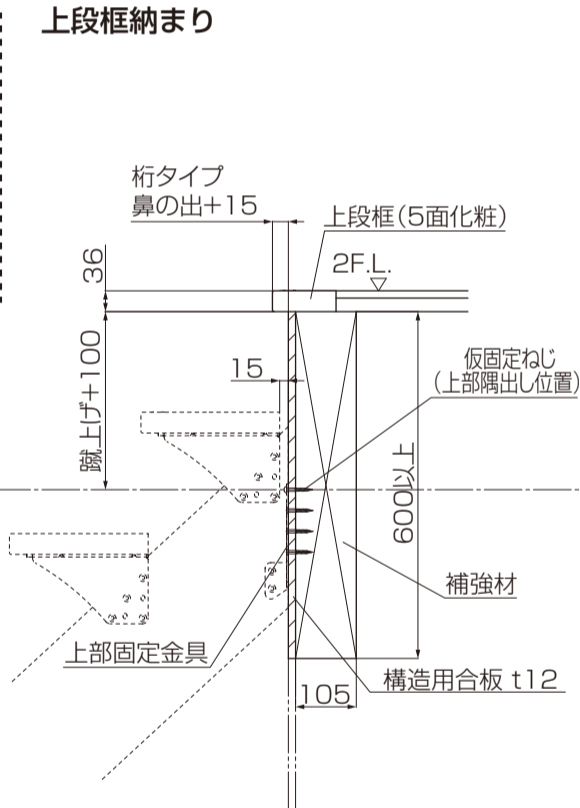
### 1 上部躯体の準備と墨出し

- ①階段を取付ける個所の壁は、下記の指定納まりに従って補強材の準備をしてください。
  - ②桁上部の取付位置を墨出ししてください。
- ※階高が設計寸法通りになっていることを確認してください。階高寸法が合っていないと、桁の上下端部と壁や床に、すき間が生じるおそれがあります。

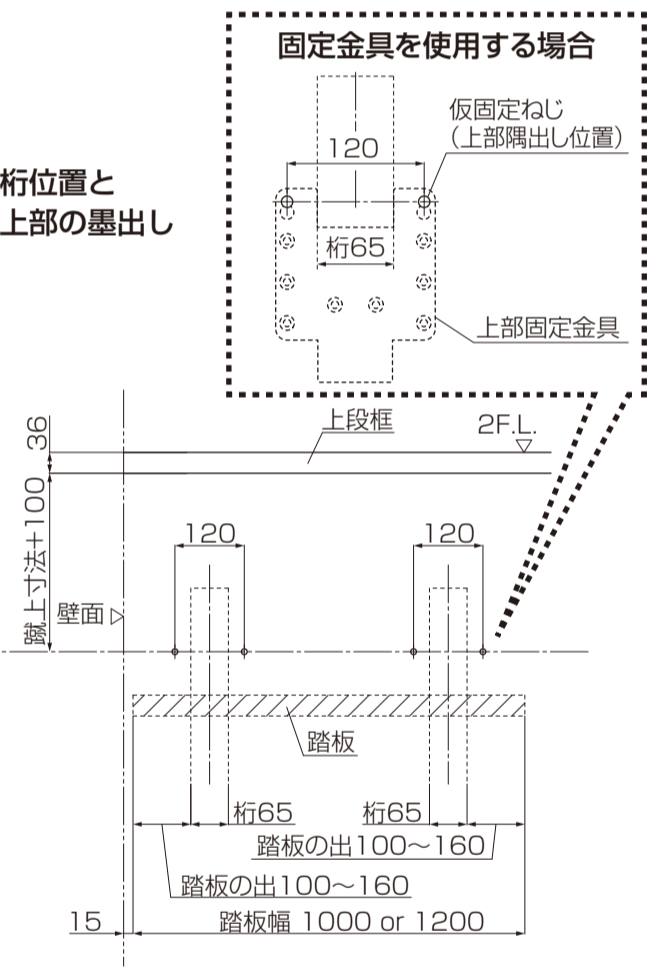
#### ボックス階段接続納まり



#### 上段框納まり



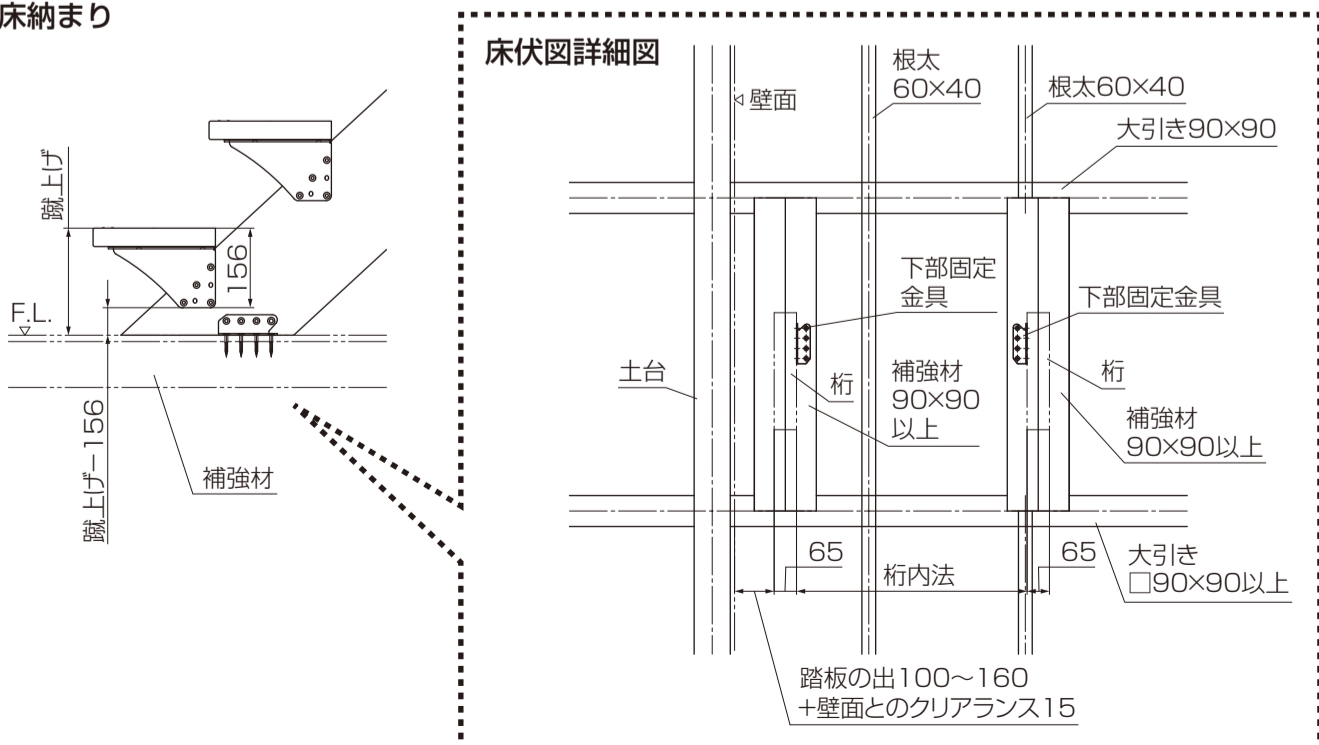
#### 桁位置と上部の墨出し



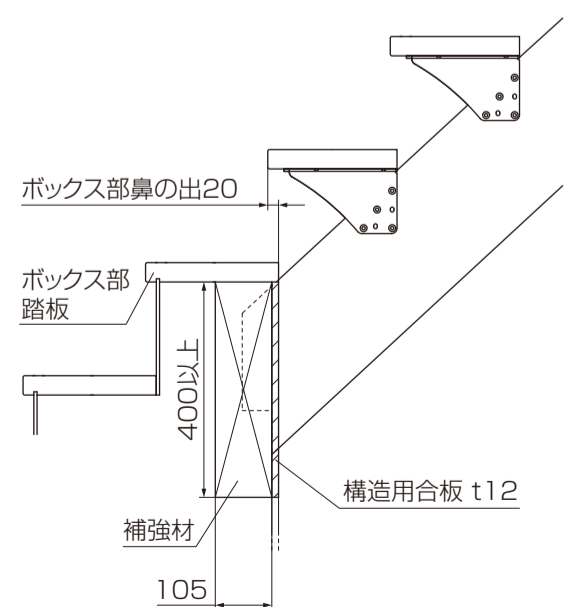
### 2 下部躯体の準備

- ①階段を取付ける個所の床は、下記の指定納まりに従って補強材の準備をしてください。

#### 床納まり



#### ボックス階段接続納まり (ホゾ加工納まり)

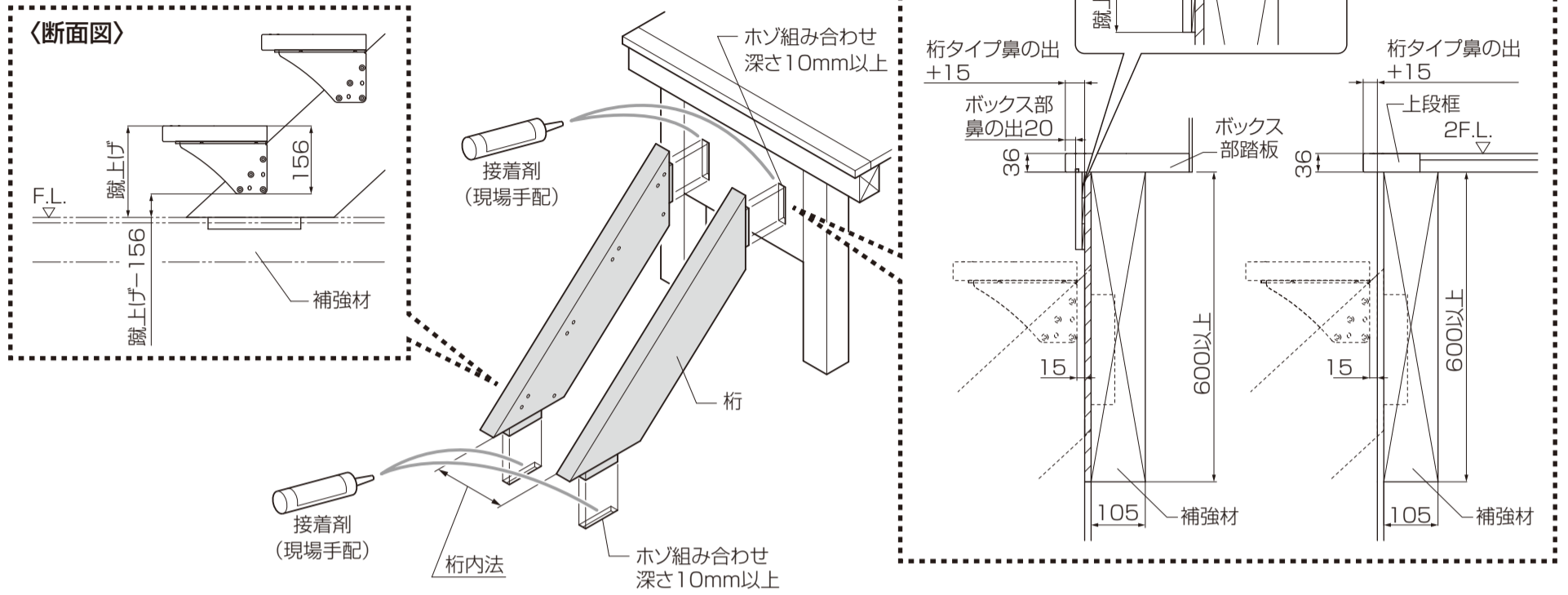


### 3 桁の取付け（ホゾ加工の場合）

接着剤は「コニシ ネダボンドアブリパック」をご使用ください。

#### お願い

※十分に接着剤を塗布した上で取付け後48時間は不要な力をかけないでください。接合部の接着不良によるガタツキや音鳴りの原因となります。

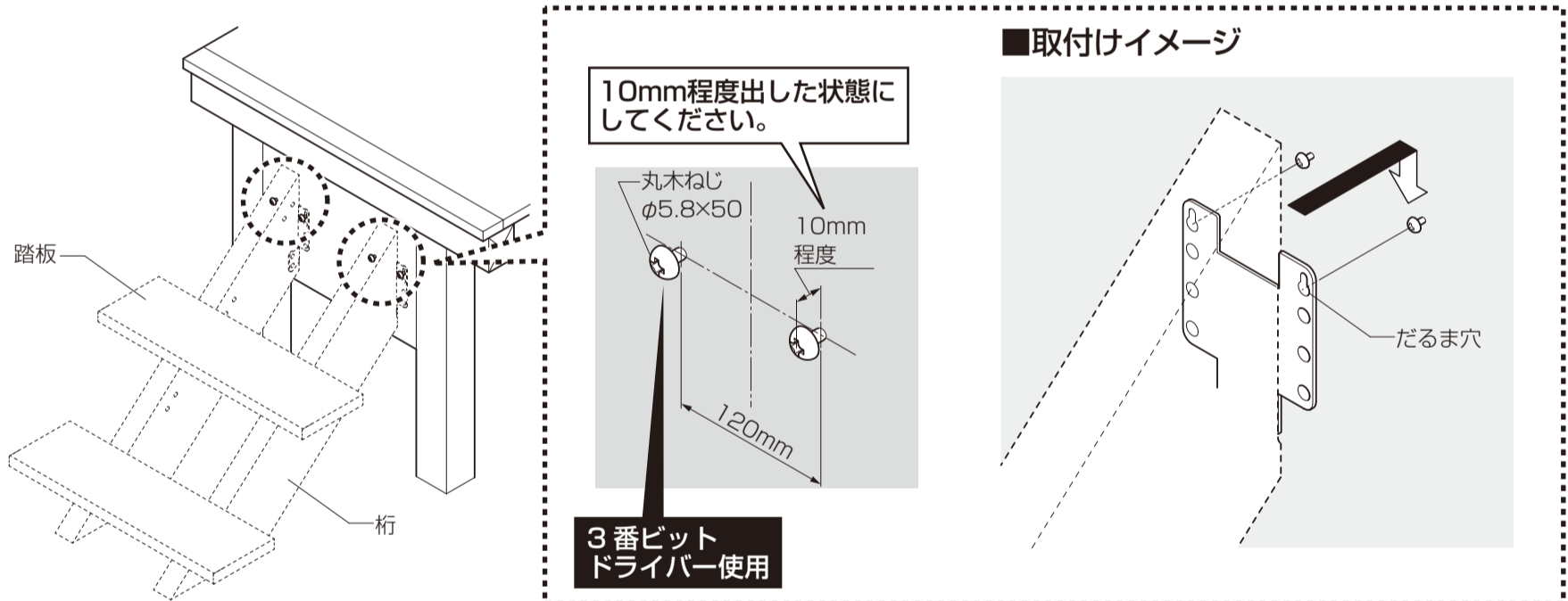


### 4 桁の取付け（固定金具を使用する場合）

#### 1. 上部の仮固定ねじの取付け

上部固定金具を掛けるためのねじを取付けます。桁1本に対して、ねじを2本取付けてください。

1で墨出した取付位置に下穴φ4.5をあけ、丸木ねじφ5.8×50を仮固定します。



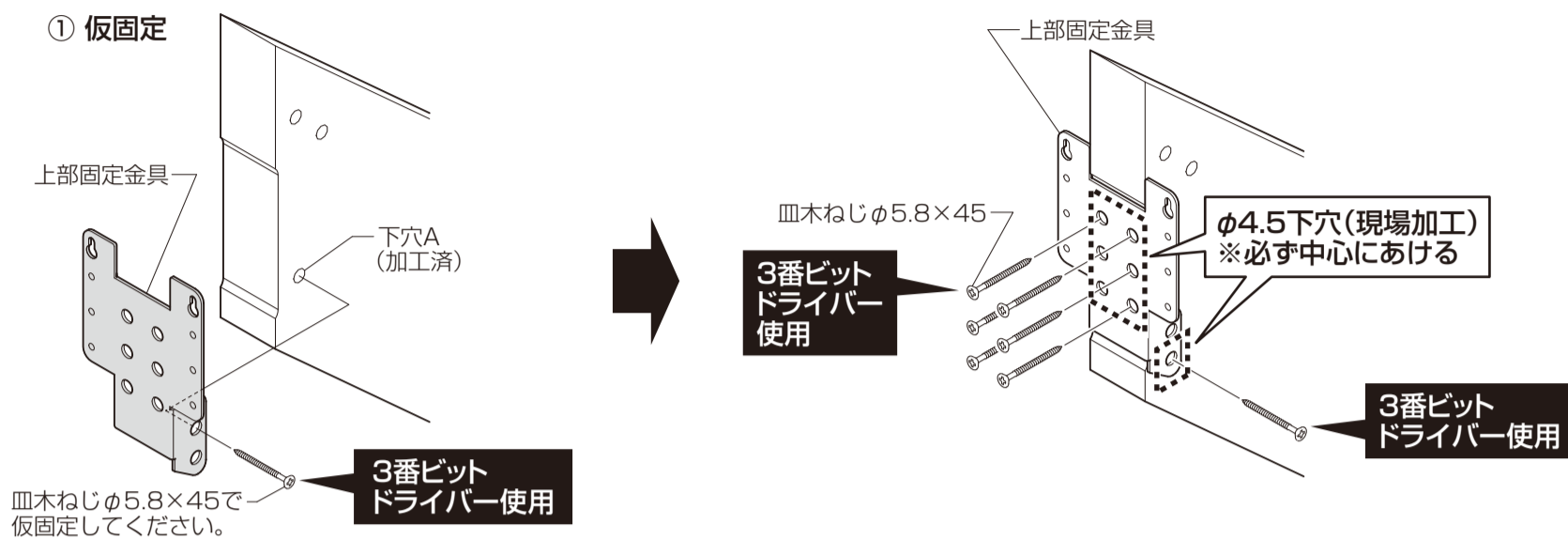
#### ▲ 注意

- 階段脱落の原因になりますので下記事項をお守りください。
- ・ねじ固定には3番ビットドライバーを使用してください。

## 4 桁の取付け（固定金具を使用する場合） ※続き

### 2. 上部固定金具の取付け

- ① 桁にある下穴Aに上部固定金具を合わせ、位置出しをして皿木ねじφ5.8×45で仮固定をします。
- ② 上部固定金具の残りの穴全てに下穴φ4.5をあけ、皿木ねじφ5.8×45で固定してください。



### ▲ 注意

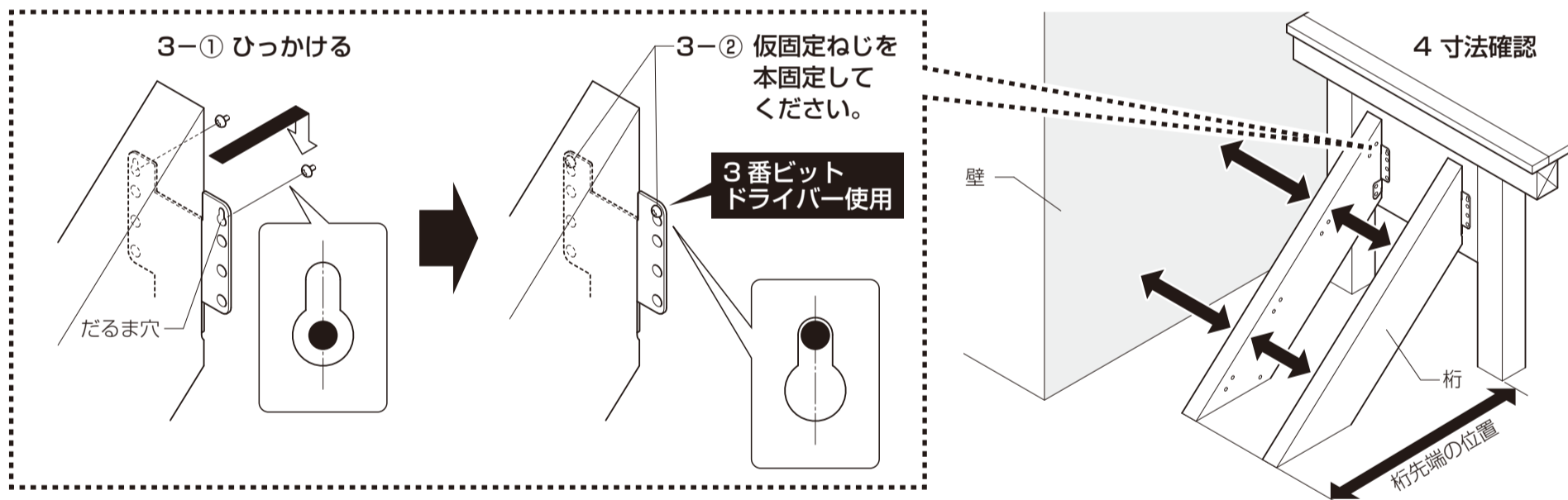
- 階段脱落の原因になりますので下記事項をお守りください。
  - ・必ずφ4.5の下穴をあけてください。桁に割れが発生するおそれがあります。
  - ・ねじ固定には3番ビットドライバーを使用してください。

### 3. 桁の仮取付け

- ① 桁に取付けた上部固定金具のだるま穴を壁面に仮固定したねじに引っ掛けて桁を取付けます。
- ② だるま穴の仮固定ねじを本固定してください。

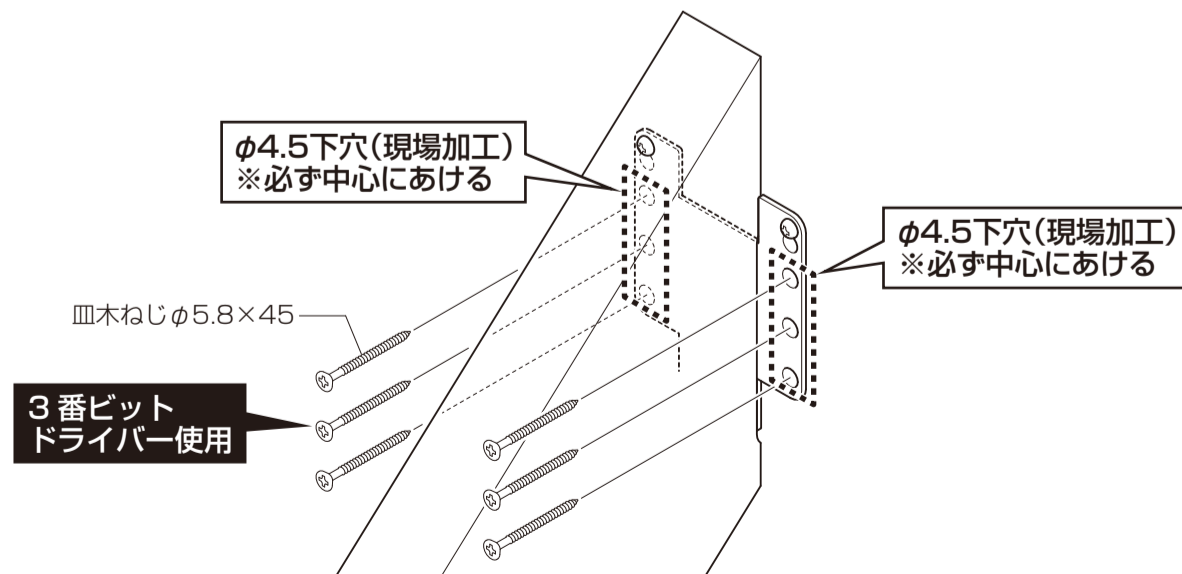
### 4. 桁の位置の確認

桁と壁の距離、桁内法、桁先端の位置を確認してください。桁が壁や床とすき間なく取付いていることを確認し、床にマーキングします。



### 5. 上部固定金具の本固定

上部固定金具の残りの穴にφ4.5の下穴をあけ、皿木ねじφ5.8×45で固定します。

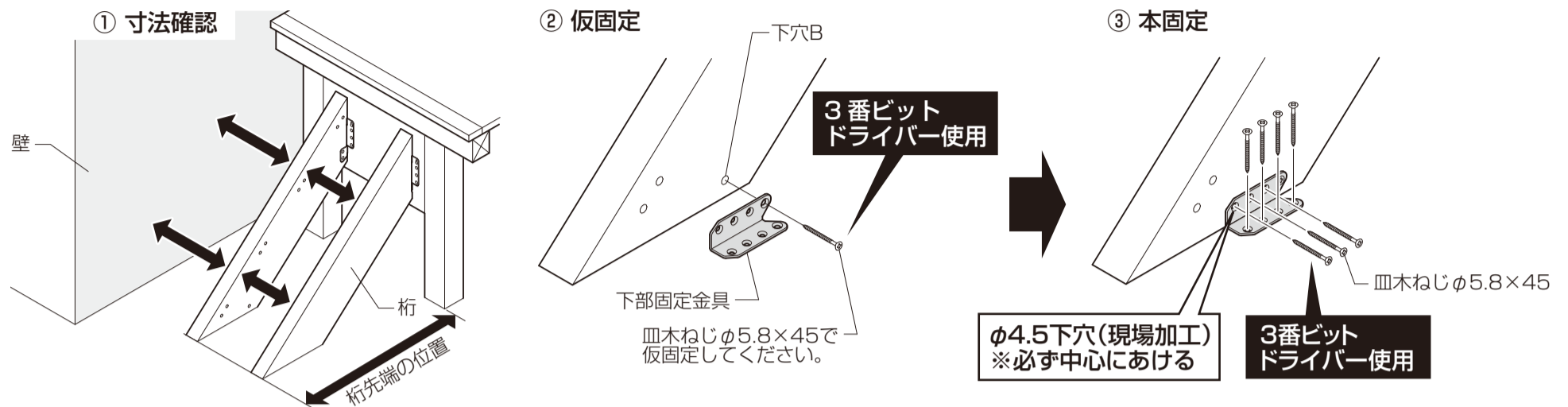


### ▲ 注意

- 階段脱落の原因になりますので下記事項をお守りください。
  - ・ねじ固定には3番ビットドライバーを使用してください。

## 6. 下部固定金具の取付け

- ①もう一度、桁と壁の距離、桁内法、桁先端の位置を確認し、桁の位置が床のマーキングに合っているかを確認してください。
- ②桁にある下穴Bに下部固定金具を合わせて皿木ねじ $\phi 5.8 \times 45$ で仮固定します。
- ③金具の全ての穴全てに $\phi 4.5$ 下穴をあけ、桁と床を皿木ねじ $\phi 5.8 \times 45$ で固定します。



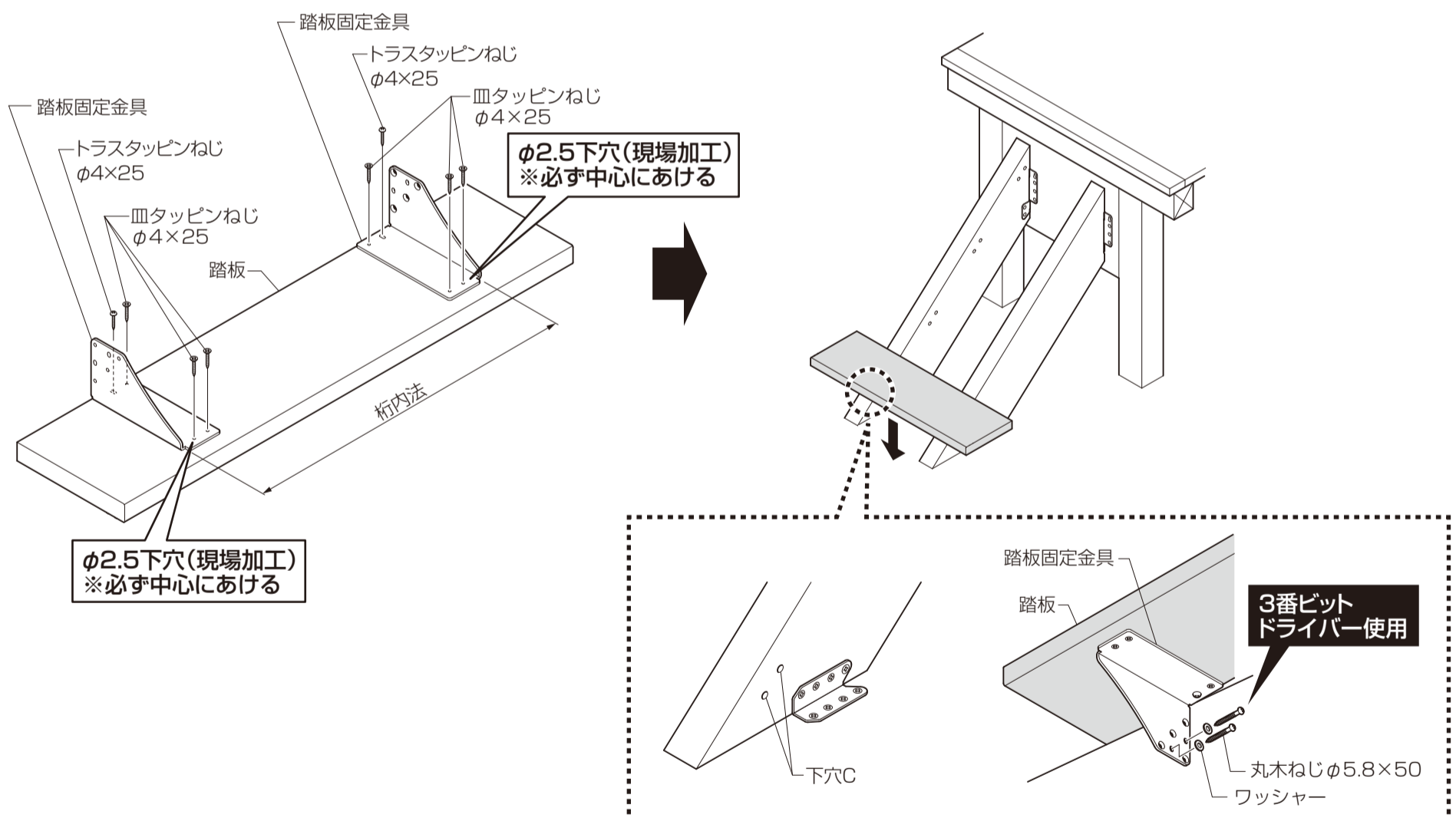
### ⚠ 注意

- 階段脱落の原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
- ・必ず $\phi 4.5$ の下穴をあけてください。桁に割れが発生することがあります。
- ・ねじ固定には3番ビットドライバーを使用してください。

## 5. 踏板の取付け

### 1. 最下段踏板の取付け

- ①最下段の踏板は、先に踏板に金具の取付けをおこないます。踏板固定金具の位置を合わせて、 $\phi 2.5$ の下穴をあけて、皿タッピンねじ $\phi 4 \times 25$ 、およびトラスタッピンねじ $\phi 4 \times 25$ で固定します。
- ②桁の下穴Cに踏板固定金具を合わせて、ワッシャーを入れた丸木ねじ $\phi 5.8 \times 50$ で仮固定してください。

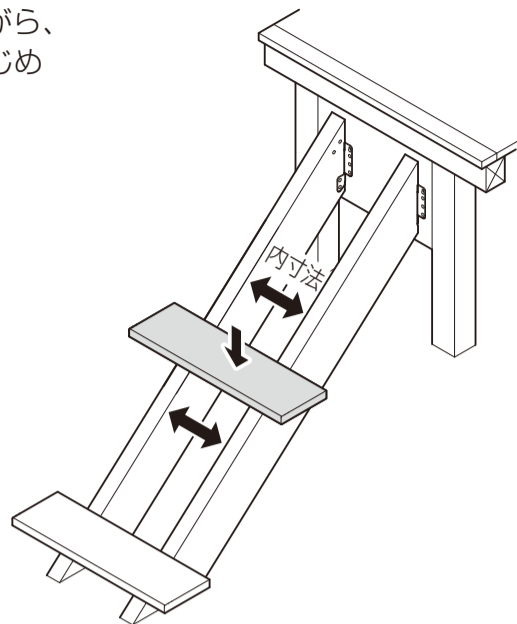


## 5 踏板の取付け ※続き

### 2. 2段目以降の踏板の取付け

※桁が長くとわみやすい場合は、たわみを抑制するために中央の踏板から施工することをおすすめします。

桁の内法を確認しながら、桁中央部の踏板をはじめに固定してください。

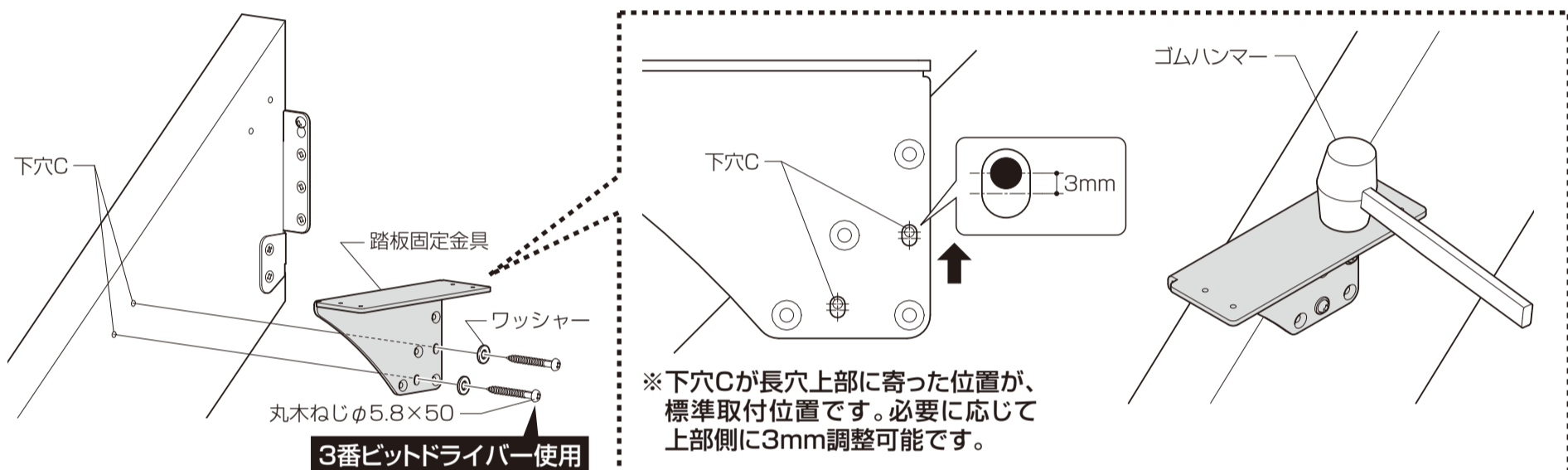


#### ① 踏板固定金具の仮固定

桁にある下穴Cに踏板固定金具を合わせて、ワッシャーを入れた丸木ねじ $\phi 5.8 \times 50$ で仮固定してください。

#### ② 踏板固定金具の水平を確認

踏板固定金具に水準器をあて水平を確認してゴムハンマーで調整してください。

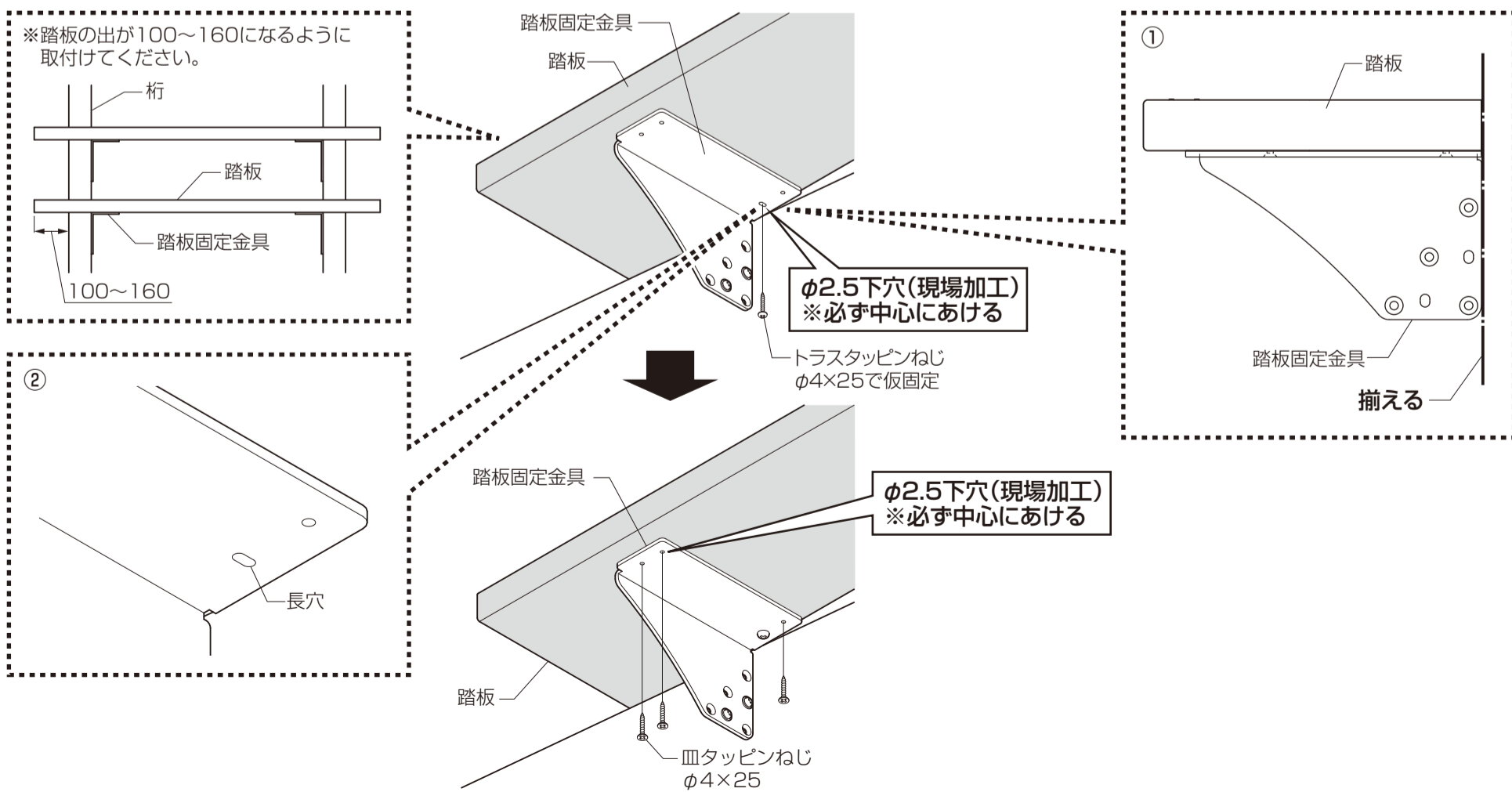


### ▲ 注意

- 階段脱落の原因になりますので下記事項をお守りください。
- ・ ねじ固定には3番ビットドライバーを使用してください。

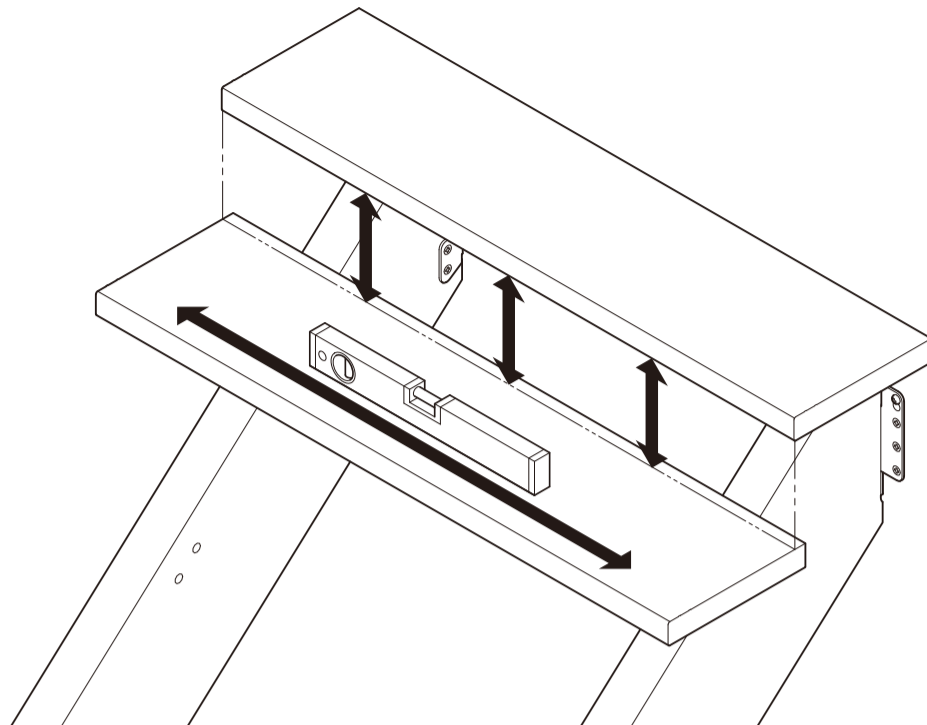
### 3. 踏板的固定

- ① 踏板固定金具に踏板を乗せ、踏板固定金具と踏板的後ろのラインを揃えください。
- ② 長穴個所に $\phi 2.5$ の下穴を明け、トラスタップピンねじ $\phi 4 \times 25$ で仮固定をしてください。
- ③ 踏板固定金具の残りの穴に $\phi 2.5$ の下穴を明け、皿タップピンねじ $\phi 4 \times 25$ で本固定してください。



#### 4. 踏板の位置確認

踏板の水平と蹴上げを確認して、ゴムハンマーで調整してください。



#### 5. 桁と踏板固定金具の本固定

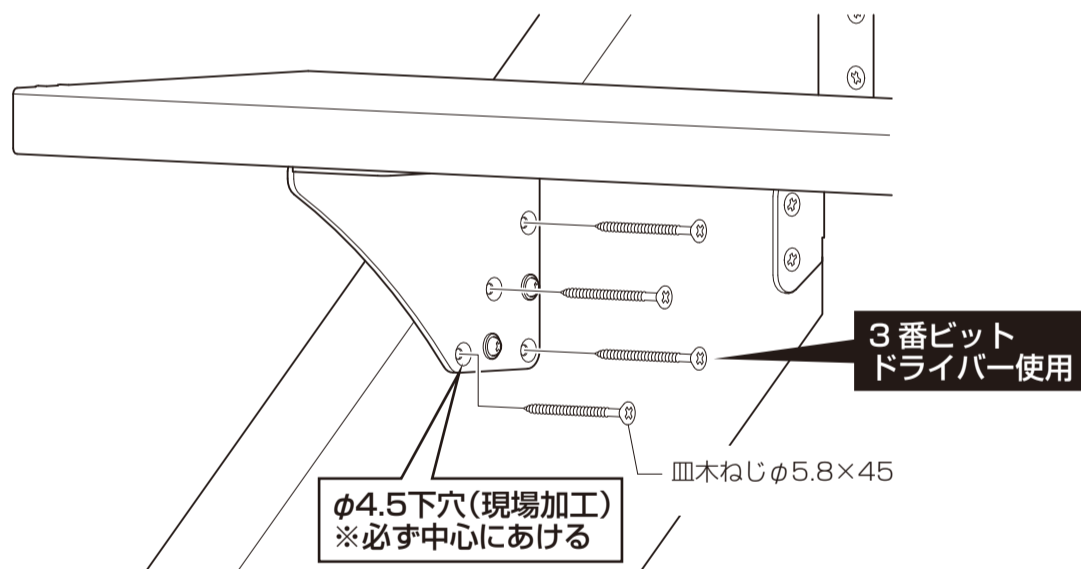
取付けた丸木ねじのゆるみを確認し、再度締め付けてください。

踏板金具の残りの穴にφ4.5の下穴をあけ、皿木ねじφ5.8×45で固定してください。

#### ▲ 注意

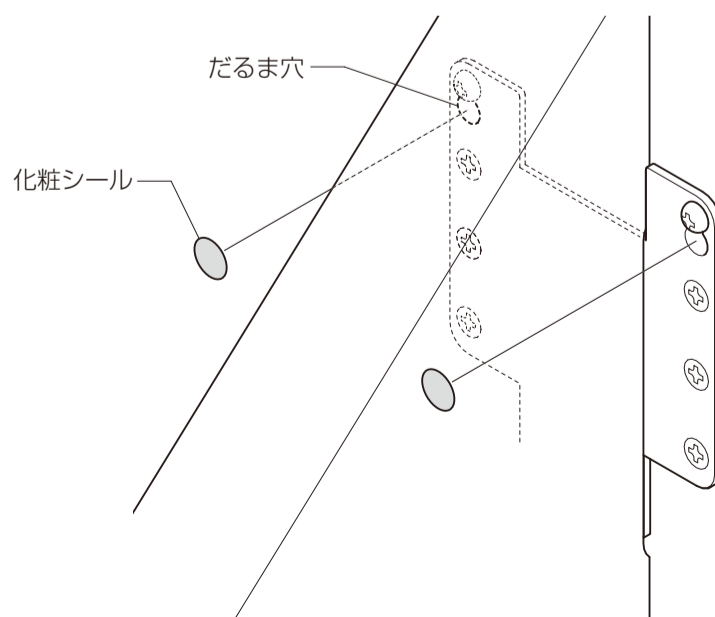
●階段脱落の原因になりますので下記事項をお守りください。

- ・必ずφ4.5の下穴をあけてください。桁に割れが発生するおそれがあります。
- ・ねじ固定には3番ビットドライバーを使用してください。



#### 6. 化粧シールの張付け

だるま穴に、化粧シールを張ってください。



## 6 施工後の確認

施工後に以下を確認してください。

チェック項目	チェック
ねじはすべて取付けられていますか？	
ねじにゆるみはありませんか？	
踏板は水平に取付いていますか？	
蹴上げは合っていますか？（一定になっていますか？）	
踏面は合っていますか？（一定になっていますか？）	
階段全体にガタツキはありませんか？	